

事業コード	事業名	事業の概要	インプット（事務事業に必要な行政資源）								アウトプット R3年度は何をどれだけしたか (利用者数・件数等)		アウトカム (事業成果を測るKPIがある場合はその状況。ない場合は「-」)	
			事業費 (千円)	国	北海道	市債	交付税 措置(%)	その他	一般財源	人工 (R3年度)				
正職員	会計 年度													
12 11 01	広域行政推進事業	旭川大雪圏域の活性化を図るため、圏域の課題などについて共通認識を深め、近隣自治体と連携した地域一帯の振興に努める。 <R3の主な内容> ・定住自立圏・連携中枢都市圏構想等会議 312千円 令和4年度は、連携中枢都市圏構想に基づき、各取組を推進する。	R2決算	115	0	0	0	0	0	115	1	0	・定住自立圏・連携中枢都市圏構想関係会議 30回 ・上川管内中央部市長・町長会議 1回 ・上川管内中央部副市長・副町長会議 1回 ・首町サミット 1回	上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数 R3実績値 189 R5目標値 166
			R3当初予算	301	0	0	0	0	0	301				
			R3決算見込	404	0	0	0	0	0	404				
			R4当初予算	210	0	0	0	0	0	210				

開始時期	実施根拠	関連する計画等	行政・民間の類似事業・サービス	改善・課題解決の参考になる事例
昭和47年度	地方自治法第252条の2	連携中枢都市圏形成に係る連携協約 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョン	-	-

1次評価 (所管部局)			
行財政改革の視点	課題	改善・対策の方向性	見込まれる効果
① デジタル化・DX ② アウトソーシング ③ 業務の効率化 ○ ④ 収入・財源の確保 ⑤ 事業費の抑制 ⑥ 連携・協働の推進 ⑦ 職員能力・組織力の向上 ○ ⑧ その他	・圏域内の活性化を図るため、各町と会議や打合せを行い、課題の認識や情報を共有しながら、継続して取組を推進する必要がある。	・取組を推進するため、各町と積極的にWEB会議等を実施し、各町との連携を強化する。 ・各種会議の開催に当たっては、統一的なマニュアルを作成するなど、事業の効率化に努める。	・各市町担当課同士が協議・意見交換を行う事業担当者によるWEB会議等を実施することで、新たな取組の検討や、既存の取組の深化、市町間の連携強化を図る。 ・各種会議に対する運営マニュアルを作成することで、資料作成等における事務の効率化が図られ、また担当者が異動した場合や急な会議開催などにも対応が可能となる。

外部評価 (行財政改革推進委員会)	2次評価 (行政評価検討会議)

(参考) 事務事業の「総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「公約」上の位置づけ

事業コード	事業名	事業の概要	インプット(事務事業に必要な行政資源)							アウトプット		アウトカム (事業成果を測るKPIがある場合はその状況)		
			事業費 (千円)	国	北海道	市債	交付税 措置(%)	その他	一般財源	人工 (R3年度)			R3年度は何をどれだけしたか (利用者数・件数等)	
正職員	会計 年度													
12 11 01	広域行政推進事業	旭川大雪圏域の活性化を図るため、圏域の課題などについて共通認識を深め、近隣自治体と連携した地域一帯の振興に努める。 ＜R3の主な内容＞ ・定住自立圏・連携中枢都市圏構想等会議 312千円 令和4年度は、連携中枢都市圏構想に基づき、各取組を推進する。	R2決算	115	0	0	0	0	0	115	1	0	・定住自立圏・連携中枢都市圏構想関係会議 30回 ・上川管内中央部市長・町長会議 1回 ・上川管内中央部副市長・副町長会議 1回 ・首町サミット 1回	上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数 R3実績値 189 R5目標値 166
			R3当初予算	301	0	0	0	0	301					
			R3決算見込	404	0	0	0	0	404					
			R4当初予算	210	0	0	0	0	210					

目指す都市像の実現に向けて

(事業のアウトカムが総合計画の施策推進に貢献)

12-1-1 北北海道における自治体との連携の推進

(施策「広域自治体ネットワークの強化」の一部)

展開施策

(事業の目的) 北北海道の拠点都市として機能を生かし、地域活性化や住民サービスの向上を図ることはもとより、他地域の活性化にも貢献するため、国や道をはじめ、他自治体との相互の連携や補完に取り組みます。

施策のアウトカム (評価指標≒事業の中間アウトカム)	単位	基準値	実績		達成率	目標値 R5
			R2	R3		
上川中部定住自立圏構想の推進に向けた会議の開催回数	回	5	8	7	77.8%	9
道北地域予防実務研修受入延べ日数	日	126	95	48	38.1%	126

(施策のアウトカムは将来ビジョン推進に貢献)

将来
ビジョン

(基本政策)

広域連携によるまちづくり

- 他市町村との交流、連携や相互の補完が進み、広域的な共通課題の解決や魅力の向上が図られています。
- 本市の都市機能等を生かした取組が推進され、北北海道の活性化に貢献しています。

※広域連携の取組に関連するSDGs1-17の目標

基本政策のアウトカム (成果指標≒事業の最終アウトカム)	単位	基準値	実績		進捗	目標値 R5
			R2	R3		
上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数	-	152	161	189	達成	166
北北海道の自治体との連携による取組数	-	26	41	41	達成	41

人口減少の抑制に向けて

(事業のアウトカムが総合戦略の施策推進に貢献)

施策 (まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策≒人口減少抑制の観点の事業の目的)

施策のアウトカム (総合戦略のKPI≒事業の中間アウトカム)	単位	基準値	実績		達成率	目標値 R6
			R元	R2		

(施策のアウトカムが将来ビジョン推進に貢献)

将来ビジョン (総合戦略の基本目標)

総合戦略のアウトカム (総合戦略数値目標≒事業の最終アウトカム)	目標値 R6

公約実現に向けて

市長公約

47 連携中枢都市圏構想の推進